



ペンを貸そうとする が伝わります。

際、「私のペンをお貸ししてはいかがでしょうか」と申し出ることもあれば、「このペン、使ってください」と依頼の表現を用いても間違いでは

を選んで話していません。どのような認知過程が働いて言語表現が選ばれるのでしょうか。一般的な選択の傾向や、適切だとされる基準があるのでしようか。行動と言語表現は

主な分析の対象は日本語ですが、英語をはじめとするさまざまな言語と比較することに より、日本語固有の特徴、そして言語の共通性についても検討しています。また、状況を判断し表現を選択する過程は人の内面で行われることですから、心理学の知見も必要です。そのため、さまざまな言語の研究者や心理学者との共同研究を進めています。学際的な共同研究は新しい発見が多く、有意義で楽しいです。

## 「言語行動のしくみ」を探る

「私の専門は言語学、特に言語使用を研究対象とする「語用論」という分野になります。

持っていますよ」と状況を述べるだけでもペンを貸そうという意図

ありません。しかし人は、相手や状況を考慮し、適切だと思っ

ています。どのように関連しているのでしょうか。こうした「言語行動のしくみ」を解明することが、円滑なコミュニケーションを促進するの

困っている人に自分の

に役立つ研究を目指

ています。

